

面的集積優良事例調書

岐阜県

1 地区名：多治見市^{つばはら}甘原地区

(事例の概要)

甘原地区では、生産基盤整備事業を契機に集落すべての農家が出資して「有限会社甘原ええのお」を設立し、水田では水稻、畑地ではブルーベリー等の作付けを行い、農地集積を図り集落ぐるみで環境に優しい農業経営を展開している。

2 地区の農業概要

- ① 農家戸数 38戸（ 専業 1戸、Ⅱ種兼業 37戸 ）
- ② 耕地面積 21ha（ 田 8ha、畑 13ha ）
- ③ 主要作目 水稻 8ha、イチゴ、野菜等 10ha
- ④ 担い手農家数 1戸（うち認定農業者 1戸）
- ⑤ 集積面積 18ha（利用権 18ha）
うち面的集積面積 18ha（利用権 18ha）

3 取組の特徴

① 経緯

甘原地区は、農業生産基盤の整備が遅れ10a未満の小区画・不整形な効率の悪い自給的な農業が行われていた。このような状況に危機感を抱き地域農業の再構築を図るため基盤整備を実施し、同町のすべての農業者の出資により平成9年度に「有限会社 甘原ええのお」が設立された。

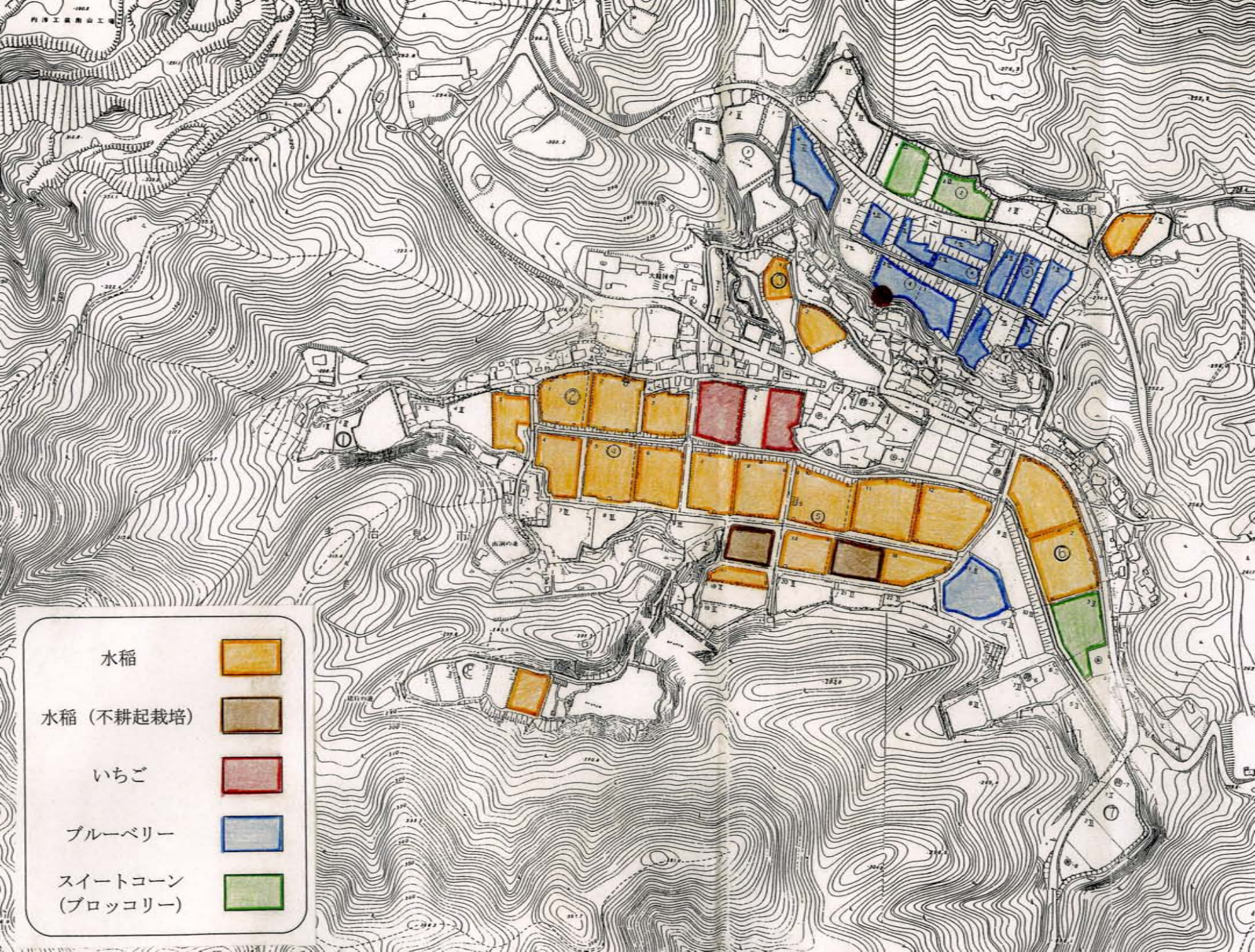
(有)甘原ええのおでは、このような経緯から法人役員や関係者の働きかけによって集落の合意のもと農地の集積が図られ、経営の効率化が進められただけでなく、集落ぐるみで環境に優しい農業に取り組み、「ぎふクリーン農業（県制度）」に生産登録された米やイチゴの生産販売を行っている。また都市近郊に位置する立地条件を生かし、ブルーベリーの摘み取り体験農園、その他の野菜生産と直売に取り組んでいる。

② 成果

甘原ええのおでは、「ふるさとクリーン村（県制度）」の認定を受け安全で安心できる健康な農産物を生産し、地域と都市住民の交流を進め自然環境の保全・景観整備と有機性資源を利用した循環型農業を推進している。これらの成果が認められ平成20年度第38回日本農業賞岐阜県代表に選出され表彰された。

4 今後の課題

(有)甘原ええのおの経営収支は赤字が続いおり、今後の経営売上の増大等、経営の安定化が当面の課題ある。



水稲	
水稲 (不耕起栽培)	
いちご	
ブルーベリー	
スイートコーン (ブロッコリー)	